

令和7年度 八雲小学校 学校経営方針

令和7年4月3日

校長 杉谷 崇

1 今年度の学校教育目標

やくも意宇学園目標：夢と希望をもって とともに高め合う 八雲っ子の育成

めざす子ども像：共に生きる子 学び続ける子 たくましく伸びゆく子

<学校教育目標>

『豊かな感性を磨き、確かな学力とたくましい心をもつ子どもの育成』

<めざす子ども像> (かっこいい子どもを目指す) 「自己決定」と「思いやり」

- ① やさしい子…豊かな心を持ち、自分から自他を大切にできる子
- ② かしい子…自分から主体的に学び、考えて行動できる子
- ③ たくましい子…たくましい心と健康な体を持ち、自分から自律できる子

<学校スローガン>

自分から
「学び合い、かかわり合い、高め合う八雲小学校」

子どもの瞳が輝く学校
子どもファーストの学校
ありがとうに溢れる学校

<めざす教職員像>

- ① **社会人として**心身ともに健康で、温かいまなざしと豊かな感性を備えた教職員
- ② **こどものために**学び続ける意欲と、**当たり前を当たり前**にできる**プロ意識**をもった教職員
- ③ **「楽しい学校・学年・学級」を目指し**、個性を発揮し、創意工夫ができる前向きな教職員
- ④ **常に対話を通して家庭や地域、教職員間の協働でこどもを育てる意識**をもった教職員
- ⑤ **「笑顔とチームワーク」**困ったことは**「チームやくも」**で協働解決できる教職員

○教育公務員としての服務規律の遵守 ○信頼される社会人（時間・金銭・ふるまい）
○社会・家庭貢献意識 ○報告・連絡・相談の徹底 提出期限・早めの起案の厳守
○率先垂範の意識（見通しをもつ、自己決定、明るい挨拶、ありがとう、奉仕、協働、チーム八雲、かっこいい姿）**楽しい学校を創る新しい発想と前向きなチャレンジ精神**
○対話力のある教職員（困ったら声に出し助け合うーありがとう！で気持ちよく）
危機管理のさしすせそ「最悪を想って・慎重に・素早く・誠意をもって・組織で対応」

2 今年度の学校経営の基本方針

- (1) 人間尊重・人権尊重に徹し、一人一人の良さを認め伸ばす指導を行うことで自尊感情を育み、様々な関わりを通して豊かな心（人間性）を育む教育に努める。
- (2) あらゆる手段を駆使して知的好奇心や学習意欲を喚起し「学びに向かう力」の向上に努めるとともに、**家庭や地域と連携して学習習慣の定着を図る。（学力底上げを目指す：研究部）**
- (3) 様々な体験的活動を通して身近な「ひと・もの・こと」への関心を高め、**楽しい学校が自覚できるよう**社会に主体的に関わり、「たくましく生きる力」を育成する。
- (4) **地域や保護者を大切する心で、積極的な情報発信に努め（テトル活用）、信頼される学校づくりを目指し、地域とともに協働的な教育活動を展開できるよう工夫する。**

- (5) 一人一人が職責を自覚し、学び、磨き、支え、助け合う「チーム八雲」として取り組む職員体制の構築を目指す。
- (6) **不登校児童数の減少・学力向上を重点課題として、具体的な取組を実践する（PDCA）。**

3 今年度の取組の重点

- (1) 一人一人を大切にした学級経営や、こどもが主役の学校行事、チーム力を高める児童会・なかよし班活動を展開し、**明日も行きたくなる学校・学級を創る（指導部・学年部主導）**
- 学級活動や学校行事、縦割り班活動、児童会活動等において、自他を大切にする人権感覚を養い、安心できる居場所や自己有用感、自治力などを高めるよう工夫する。
 - 楽しい学校・学級を目指し、特色ある行事や学年・学級活動（主任を中心に相談）、児童会・クラブ活動を計画し実践する（集会や昼休み等に計画）。**
- (2) 校内授業研究を通して「主体的で対話的な学び」のある授業づくりを創造し、**日々の授業で基礎・基本の学力の定着を図り、学力向上に努める。（研究部主導）**
- 聞き合う力の育成を中心に、問題解決的学習、主体的、対話的学習集団づくりをめざす。
 - めあてと振り返りを大切にし、**「楽しくわかりやすい授業」を創る（校内研修）。**
 - 「自学コンクール」を実施し、自学ノートを有効活用し、家庭学習習慣を定着させる。**
 - 「たんぽぽタイム」「読書カード」「情報カード」「朝の読み聞かせ」「**ペア読書**」など様々な活動を通して本に親しみ、読解力や情報処理能力や情報活用能力を伸ばす。
- (3) 学級活動や道徳での話し合い活動を工夫し、聞く力・話す力・考える力の育成に努める。
- 特別活動における話し合い活動、「考え、議論する道徳を」目指し、各学級で実践する。
- (4) 積極的な生徒指導や特別支援教育の充実により、自尊感情・自己肯定感を高める。
- 「自分から」「カッコいい姿」「チーム八雲」をキーワードに自主性や規範意識の醸成、また自己肯定感、他者理解、協調性を高めることにつなげる。**
 - 教育相談、スクールカウンセラー、QU アンケートなどを総合的に活用し、個別の学びの場の保障と交流学習の充実に努める。
 - 特別支援学級在籍児童に対する**早期の理解教育**の継続と、通常学級における特別な支援が必要な児童への配慮と適切な指導を行う（**にこサポ・支援員・介助員の有効活用**）。
- (5) 体力向上推進計画に基づき、健やかでたくましい心と体を育む健康教育を推進する。
- 望ましい生活習慣の確立をめざし、早寝・早起き・朝ごはんの定着を推進する。
 - 体育の授業を充実させるとともに、日常的に体力づくりや体幹を意識した運動、姿勢保持、外遊びの奨励、目的をもった行事計画等で体づくりをめざす。（体育部主導）**
- (6) **ICT担当を推進と整備に分け、ICT機器の効果的な活用を推進する。**
- タブレットドリルを活用した個別学習の充実と、**家庭学習や調べ学習、まとめ学習での活用等、ICT機器を積極的かつ効果的に活用した協働的な学びの融合を図る。**
- (7) 意宇学園小中一貫教育を活かした「ふるさと教育」や「キャリア教育」を推進する。
- 地域に誇りと愛着を感じる子どもの育成をめざし、地域の特色（ひと・もの・こと）を生かした体験的な活動や直接的な関わりが実感できる「ふるさと教育」の推進を図る。
 - 縦の一貫教育を意識した「キャリアパスポート」の有効活用を進める。
- (8) 行事の精選や業務のスリム化を図り、職員の働き方改革の意識を高める。
- スクラップ&ビルド、スリム化を図り、効率的に目的を達成できる行事等の改革を行う。
 - 児童を育てることが時短につながる意識を基本に据え、共通理解して改革に取り組む。**